

「海外移住の日」記念 特別上映会 中南米へ渡った若者たち

—日系社会青年海外協力隊の源流をたどる—

JICA 横浜 海外移住資料館では、「海外移住の日」（6月18日）を記念し、2026年6月21日（日）に特別上映会「中南米へ渡った若者たち—日系社会青年海外協力隊の源流をたどる—」を開催します。

「海外移住の日」は、1908年に移民船「笠戸丸」がブラジル・サントス港に到着したことにちなむ記念日です。本上映会では、戦後、青年の海外移住を促進する目的で発足した二つの制度により中南米へ渡った海外移住研修生と海外開発青年（現在の日系社会青年海外協力隊）の歩みを、2本の記録映像を通じて振り返ります。

ブラジルやパラグアイなどで農業に挑んだ若者たち、また日本語教育、医療、土木、技術分野などで日系社会や地域社会に関わった若者たちの姿を紹介します。2026年は海外開発青年の第1回生出発から40周年の節目にあたり、現在の日系社会青年海外協力隊へとつながる協力の原点をたどる機会となります。

開催日	2026年6月21日（日）
時間	（受付・開場 13:30）14:00～15:10
会場	JICA 横浜 4階 かもめ ※1階で受け付け後、案内に従って4階会場までお進みください。
定員	60名
申込	不要（先着順）
主催	JICA 横浜 海外移住資料館



①ザ・チャレンジャー

海外移住研修生（1988）

ブラジルやパラグアイ、アルゼンチンなどで農業に挑んだ海外移住研修生の記録 [30分]



②燃えよ若い力

—海外開発青年—（1987）

農業・医療・教育・技術などの分野で中南米の日系社会と地域社会に携わった若者たちの記録 [30分]

海外移住の日とは？

1966年、JICAの前身団体の一つである海外移住事業団は、ブラジルへの最初の集団移民781人を乗せた移民船「笠戸丸」がサントス港に入港した6月18日を「国民に移住推進を実施する日」として「海外移住の日」に制定しました。現在では、日本から海外各地へ移住した人びとの歴史や国際社会への貢献などを振り返り、日本と移住先国との友好関係を促進するための記念日とされています。

■ミニ展示も開催■

海を渡った若者たち『海外移住』誌でたどる海外開発青年の歴史

開催期間：2026年6月16日（火）～7月5日（日）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 横浜 海外移住資料館 展示・イベント部門 担当：小田、伊藤
TEL：045-663-3257 e-mail：jomm02@jadesas.or.jp
所在地：神奈川県横浜市中区新港2-3-1（JICA 横浜センター2階）